



第1号

令和8年4月30日

庄和すずらん幼稚園

園長 戸田 千里

この“保育だより”は、すずらん幼稚園における、日々の活動や出来事を、園長の視点から皆さまに知っていただく一助として、月一回を目安に皆様にお届けするものです。

## ★笑顔の花を咲かせましょう！

4月、新しい年度が始まり、子ども達だけでなく、各ご家庭におかれましても、新たな環境の変化等がおありだったかとお推察申し上げます。環境の変化がもたらす心身の負担は思いのほか大きかったりします。入園・進級を経て、まさに今子ども達はそれぞれの新しい環境に適応しようと頑張っているところです。新入の子ども達にとっては普段ご家庭では使わない単語が飛び交う園生活。うわばき・おてさげ・お道具箱・ロッカー・下駄箱等々。頭フル回転で吸収中！疲れますよね。それでもやっぱり幼稚園は楽しいところ、先生たちは自分のことをわかってくれる人、自分以外の同年代の子ども達が「おともだち」と呼べるようになることを学んでいくことで、一回りも二回りも大きくたくましくなっています。

一方、進級した子ども達にとっては、自分より年齢の小さなお友達が園内にいることで、自らの成長を感じ取り、年上としての自覚も芽生えていきます。いつの間にかできるようになったことが、だんだんと当たり前になり、さらにできることが増え、それは自信へと繋がっていくことでしょう。

園庭の桜の木はすっかり葉桜になりました。薄桃の花満開の時期は柔らかな気持ちになりますね。新緑の緑が生き生きと木々を彩るこの時期はまた格別です。生命力がみなぎり、私達も力を貰えます。そんな木々の下で笑顔いっぱい遊ぶ子ども達の姿に、さらに力を貰えるのです。花の時期には限りがありますが子ども達の笑顔の花はその限りではありません。一年中を通して咲き誇り、笑顔の花の種がたくさんこぼれて、次の世代へと受け継がれていくことを願っています。

先日のある朝、職員室に年少さんの女の子がやってきました。手には園庭の遅咲きの八重桜の花びらが・・・。「先生、これあげる！」と満面の笑みと一緒にプレゼントしてくれました。子ども達は、園庭に落ちている花びらや実を集めるのが大好きです。無心に拾い集め、職員室に「袋く～ださい。」とやってきます。何に使うのかは不明なことも多々ありますが（笑）、無心になれる場があることは素敵だと思うのです。これからは、ダンゴムシたちの出番です。砂場玩具のお鍋の中にたくさんのダンゴムシが入っている光景は、すずらん幼稚園ならでは！でしょうか。ダンゴムシさんごめんなさいですが…。

すずらん幼稚園の教育方針のひとつに「自ら主体的に自然環境に関わる」がありますが、自然と共生できる環境の中で、何かしらの関わりが生まれていることでしょう。

私達保育者は、子ども達の笑顔の花が育つための水や栄養剤の役目です。一年を通して咲き続けられるように環境を整えて参りたいと思います。「生きる力」を自然界から貰いながら、どうぞ保護者の皆様もここでたくさんの笑顔の花を咲かせてください。子ども達と保護者の皆様の笑顔は何よりのパワーの源となります。